

注3

**大学番号：私563**

[平成20年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

**認可**

福岡女学院看護大学 看護学部 看護学科

注2

**【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人 福岡女学院  
平成23年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	
職名・氏名	シムフチョウ ヒラノ ジュンイチロウ 事務部長 平野 純一郎
電話番号	092-943-4174
（夜間）	092-943-4174
F A X	092-940-2341
e-mail	kango@fukujo.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学新設の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」  
「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。  
「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

## 1 調査対象大学等の概要等

- (1) 設置者
- (2) 大学名
- (3) 大学の位置
- (4) 管理運営組織
- (5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等
  - (5)－① 調査対象学部等の名称, 定員
  - (5)－② 調査対象学部等の入学者の状況
  - (5)－③ 調査対象学部等の在学者の状況
  - (5)－④ 調査対象学部等の退学者等の状況

## 2 授業科目の概要 〈看護学部 看護学科〉

- (1) 授業科目表
- (2) 授業科目数
- (3) 未開講科目
- (4) 廃止科目
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
- (6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

## 3 施設・設備の整備状況, 経費

## 4 既設大学等の状況

## 5 教員組織の状況

- (1) 担当教員表
- (2) 専任教員数
- (3) 専任教員交代の理由
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

## 6 留意事項に対する履行状況等

## 7 その他全般的事項 〈看護学部 看護学科〉

- (1) 設置計画変更事項等
- (2) 教員の資質の向上の方策(FD活動含む)
- (3) 自己点検・評価等に関する事項
- (4) 情報提供に関する事項

- ・ 福岡女学院看護大学学則新旧対照表
- ・ 福岡女学院看護大学FD委員会規程
- ・ 自己点検・評価等に関する事項 (別紙)

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 福岡女学院

## (2) 大学名

福岡女学院看護大学

## (3) 大学の位置

〒811-3113

福岡県古賀市千鳥1丁目1番7号

(〒811-1313 福岡市南区日佐3丁目42番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(マツバラ ヤスヒロ) 松原 安宏 (平成19年6月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(トクナガ トオル) 徳永 徹 (平成20年4月)		
副学長		(ニシマ サンケイ) 西間 三馨 (平成22年3月)	水口副学長の退職にともない新たに副学長を採用し大学の管理運営をより円滑に遂行する(22)
		(ミズグチ ヤスオ) 水口 康雄 (平成20年11月)	大学の管理運営をより円滑に遂行するため(21)
学部長	(マツオカ ミドリ) 松岡 縁 (平成20年4月)		
学科長等	学部長が学科長を兼任		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告

された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科  学士(看護学)	4年	100人	一年次 一人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100人 ( - ) [ - ]	-人	100人 ( - ) [ - ]	-人	100人 ( - ) [ - ]	-人	100人 ( - ) [ - ]	-人	1.08倍	
志願者数	535 ( - ) [ - ]	-	451 ( - ) [ - ]	-	495 ( - ) [ - ]	-	502 ( - ) [ - ]	-		
受験者数	500 ( - ) [ - ]	-	435 ( - ) [ - ]	-	485 ( - ) [ - ]	-	492 ( - ) [ - ]	-		
合格者数	217 ( - ) [ - ]	-	265 ( - ) [ - ]	-	227 ( - ) [ - ]	-	223 ( - ) [ - ]	-		
B 入学者数	104 ( - ) [ - ]	-	115 ( - ) [ - ]	-	103 ( - ) [ - ]	-	112 ( - ) [ - ]	-		
入学定員超過率 B/A	1.04		1.15		1.03		1.12			

- (注) ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 102	[ - ] -	[ - ] 114	[ - ] -	[ - ] 101	[ - ] -	[ - ] 112	[ - ] -	
2年次	/		[ - ] 102	[ - ] -	[ - ] 111	[ - ] -	[ - ] 102	[ - ] -	
3年次			/		/		[ - ] 99	[ - ] -	[ - ] 110
4年次	/						/		[ - ] 99
計			[ - ] 102	[ - ] -	[ - ] 216	[ - ] -			[ - ] 311

(注) ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [ - ]	(累積)計 [ - ]	1.9%
	うち平成20年度入学者 2人	うち平成20年度 104人	
	(主な退学理由) ・就職 1人 ・他の教育機関への入学・転学 1人		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [ - ]	(累積)計 [ - ]	0.9%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 102人	
	うち平成21年度入学者 2人	うち平成21年度 115人	
	(主な退学理由) ・学生個人の心身に関する事情 1人 ・他の教育機関への入学・転学 1人		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ - ]	(累積)計 [ - ]	2.2%
	うち平成20年度入学者 2人	うち平成20年度 102人	
	うち平成21年度入学者 3人	うち平成21年度 113人	
	うち平成22年度入学者 2人	うち平成22年度 103人	
	(主な退学理由) ・除籍 1人 ・就職 1人 ・他の教育機関への入学・転学 1人 ・就学意欲の低下 4人		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [ - ]	(累積)計 [ - ]	1.7%
	うち平成20年度入学者 2人	うち平成20年度 100人	
	うち平成21年度入学者 3人	うち平成21年度 110人	
	うち平成22年度入学者 2人	うち平成22年度 101人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 112人	
(主な退学理由)			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学
  - ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

## 2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	建学の理念	1前	1			3 2 3 2					「建学の理念」 担当教員の変更(23) 担当 西間三馨(教授) 平成23年1月 教員審査済 判定 可(23)  「建学の理念」 担当教員退職(水口康雄) のため(22)  「建学の理念」 教育課程の充実を図るため、 教員を追加(21) 担当 水口康雄(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可(21)
	キリスト教と文化										
	キリスト教と文化										
	キリスト教と文化										
	キリスト教と文化										
	キリスト教と文化										
	キリスト教と文化										
	キリスト教と文化										
	キリスト教と文化										
	キリスト教と文化										
	音楽	1前		1							
	文化人類学	1前		2							
	ジェンダー論	1後		2		1					
	生命倫理	1後	2			1					
	小計(7科目)	—	4	6	0	5 4 5 4	0	1 0	0	0	
	生物と地球環境	1後		2		1					
	心理学	1前		1		1					
	人間関係論	1後	2			1					
	社会福祉学	1前	2								
	ボランティア論	1前		1							
	リーダーシップ論	2前		2		1					
	食生活論	1前 1後	2								講師の本務の都合により 開講期を変更(22)







科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専 門 科 目	早期体験学習										<p>「早期体験学習」担当教員の就任辞退及び教育課程の充実を図るため、教員を追加(22)</p> <p>担当 福澤雪子(准教授) 平成21年7月 教員審査済 判定可(22)</p> <p>担当 坂梨(隅川)左織(助教) 平成21年10月 教員審査済 判定可(22)</p> <p>担当 酒井康江(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定可(22)</p> <p>担当 太田里枝(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定可</p> <p>「早期体験学習」担当教員の就任辞退及び教育課程の充実を図るため、教員を追加(21)</p> <p>担当 山本捷子(教授) 担当 松尾和枝(教授) 平成20年10月 教員審査済 判定可</p> <p>担当 福澤雪子(准教授) 平成21年6月 提出予定</p>
	ヒューマンケアリング論	1前	1			1					
	基礎看護学方法論Ⅰ(基本看護技術)	1前	2			1		1		1	
	基礎看護学方法論Ⅱ(生活援助技術)	1前～2前 1後～2前	3			1	1	1		1	<p>担当教員の退職による教員の変更(23)</p> <p>担当 青山和子(准教授) 平成20年9月 教員審査済 判定可(23)</p> <p>学生の負担軽減と理解力を深めるため(22)</p>
	フィジカルアセスメント	2前・後	2					1	1	1	
	看護過程	2前	1			1		1	1	1	
	医療安全管理論	2後	1			1					
	家族看護論	1後		1		2	1				<p>「家族看護論」担当教員の就任辞退による教員の変更(22)</p> <p>担当 福澤雪子(准教授) 平成21年7月 教員審査済 判定可(22)</p> <p>「家族看護論」担当教員の就任辞退による教員の変更(21)</p> <p>担当 山本捷子(教授) 平成20年10月 教員審査済 判定可</p>
	小計(10科目)	—		13	1	0	6 5 7 8	4 3	3 2	9	3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	成人看護学概論	2前	1			1						「急性期・回復期の成人看護援助論」 担当教員の退職による教員の変更(23) 担当 新地裕子 (准教授) 平成23年1月 教員審査済 判定 可(23)
	急性期・回復期の成人看護援助論	2前・後	2			1	1		1		「急性期・回復期の成人看護援助論」 担当教員の就任辞退による教員の変更(22) 担当 坂梨(隅川)左織 (助教) 平成21年10月 教員審査済 判定 可(22)	
	慢性期・終末期の成人看護援助論	2前・後	2			1 2	1		1		担当教員の退職のため(22)	
	老年看護学概論	2前	1			1					「老年看護学概論」 担当教員の退職による教員の変更(21) 担当 松岡緑(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可	
	老年看護援助論	3前	1			1	1				担当教員の退職のため(22)	
	クリティカルケア	3前	1			1						
	リハビリテーション看護学	2後	1				1					
	成人・老年看護援助論演習	3前	1			1 2		2		2 1		「成人・老年看護援助論演習」 担当教員の退職による教員の変更(23) 担当 新地裕子 (准教授) 平成23年1月 教員審査済 判定 可(23)
												「成人・老年看護援助論演習」 担当教員の退職及び教育課程の充実を図るため教員を追加(22) 担当 坂梨(隅川)左織 (助教) 平成21年10月 教員審査済 判定 可(22)
												担当 太田里枝(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可(22)
小計(8科目)		—	10	0	0	2 3	2	0	3 2	0		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	母性・小児看護学	発達看護学概論	2後	1			2	1				<p>「発達看護学概論」「発達看護援助論演習」「母性看護援助論」 担当教員の退職及び教育課程の充実を図るため教員を追加(23) 担当 新地裕子 (准教授) 平成23年1月 教員審査済 判定 可(23)</p> <p>「小児看護援助論」 担当教員の退職による教員の変更(23) 担当 西間三馨 (教授) 平成23年1月 教員審査済 判定 可(23)</p> <p>「発達看護援助論」「小児看護援助論」 担当教員の退職による教員の変更(23) 担当 奥野由美子 (講師) 平成23年6月提出予定(23)</p> <p>「発達看護学概論」「発達看護援助論演習」「母性看護援助論」 担当教員の就任辞退による教員の変更(22) 担当 福澤雪子(准教授) 平成21年7月 教員審査済 判定 可(22)</p> <p>「発達看護学概論」「発達看護援助論演習」「小児看護援助論」「障害児ケア」 担当教員の就任辞退による教員の変更② 担当 山本捷子(教授) 平成20年10月 教員審査済 判定 可</p> <p>「発達看護学概論」「発達看護援助論演習」「母性看護援助論」 担当教員の就任辞退による教員の変更(21) 担当 福澤雪子(准教授) 平成21年6月 提出予定</p>
		発達看護援助論演習	3前	2			1 2	2 +	1	1 2		
		母性看護援助論	3前	2			2	2 +				
		小児看護援助論	3前	2			2 +		1	+	1	
		障害児ケア	3前	1			1					
	小計(5科目)	—	8	0	0	2 + 2	2 + 0	1 0	1 2	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	精神看護学概論	2後	1			1					「精神看護学概論」「精神保健看護論」「精神看護援助論」「精神看護援助論演習」 担当教員就任辞退による教員の変更(23) 担当 山崎不二子 (教授) 平成22年7月 教員審査済 判定可(23)
	精神保健看護論	3前	1			1		1	1	「精神保健看護論」「精神看護援助論」「精神看護援助論演習」 担当教員就任辞退による教員の変更(23) 担当 中島富有子 (助教) 平成22年7月 教員審査済 判定可(23)	
	精神看護援助論	3前	1			1		1	1		
	精神看護援助論演習	3前	1			1		1	1		
	小計(4科目)	—	4	0	0	1	0	1	1	0	担当教員の就任辞退のため。後任は決定しており平成22年6月教員審査提出予定(22)
	地域看護学概論	1後	2			1					「地域看護学概論」 担当教員の退職により教員を変更(22) 担当 松尾和枝(教授) 平成22年1月 教員審査済 判定可(22)
	地域看護活動論Ⅰ(地域看護の展開)	2前	2			1					「地域看護活動論Ⅱ」 担当教員の退職のため(23)
	地域看護活動論Ⅱ	2後	2			1			2	3	
	(地域看護活動の方法と地域看護管理)										「地域看護活動論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 教員の新規採用により担当教員を変更(21) 担当 松尾和枝(教授) 平成20年10月 教員審査済 判定可
	地域看護活動論Ⅲ (地域看護活動の場の違いと特徴)	3前	3			1			1	1	
在宅看護論Ⅰ	2後	2			1		1			「在宅看護論Ⅰ」「在宅看護論Ⅱ」 担当教員の退職により教員変更(22) 担当 酒井康江(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定可(22)	
在宅看護論Ⅱ	3前	2			1		1				
小計(6科目)	—	13	0	0	1	0	1	2	3	0	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	臨 地 実 習	基礎看護学実習	2前	2			1	3	1	3	2	<p>「基礎看護学実習」 担当教員の退職による教員の変更(23) 担当 新地裕子(准教授) 平成23年1月 教員審査済 判定 可(23)</p> <p>担当 青山和子(准教授) 平成20年9月 教員審査済 判定 可(23)</p> <p>「基礎看護学実習」 担当教員の就任辞退による教員の変更(22) 担当 坂梨(隅川)左織(助教) 平成21年10月 教員審査済 判定 可(22)</p>
		看護過程実習	2後	2			1	2	2	4	4	<p>「看護過程実習」 担当教員の退職による教員の変更(23) 担当 中島富有子(助教) 平成22年6月 教員審査済 判定 可(23)</p> <p>担当 新地裕子(准教授) 平成23年1月 教員審査済 判定 可(23)</p> <p>担当 青山和子(准教授) 平成20年9月 教員審査済 判定 可(23)</p> <p>担当 奥野由美子(講師) 平成23年6月提出予定 (23)</p> <p>「看護過程実習」 担当教員の就任辞退による教員の変更(22) 担当 坂梨(隅川)左織(助教) 平成21年10月 教員審査済 判定 可(22)</p>
		成人看護学実習(急性期)	3後～4前	2			1	1		1		3

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専 門 地 実 習	成人看護学実習(慢性期)	3後～4前	3				2 +		2	2	「成人看護学実習(慢性期)」 担当教員の追加(23) 担当 新地裕子(准教授) 平成23年1月 教員審査済 判定 可(23)  「成人看護学実習(慢性期)」 担当教員の就任辞退による教員の変更(22) 担当 太田里枝(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可(22)
	老年看護学実習	3後～4前	3			+	1		1	2	「老年看護学実習」 教員の退職による教員変更(22) 担当 穴井めぐみ(准教授) 平成22年1月 教員審査済 判定 可(22)  担当 太田里枝(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可(22)  教員の退職。後任未定(公募中)。(21)
	母性看護学実習	3後～4前	2			+	2 +		1	2	「母性看護学実習」 教育課程の充実を図るため教員を追加(23) 担当 新地裕子(准教授) 平成23年1月 教員審査済 判定 可(23)  「母性看護学実習」 担当教員の就任辞退による教員の変更(22) 担当 福澤雪子(准教授) 平成21年7月 教員審査済 判定 可(22)  担当教員の就任辞退による教員の変更(21) 担当 福澤雪子(准教授) 平成21年6月 提出予定
	小児看護学実習	3後～4前	2			1		1	+	2	「小児看護学実習」 教員の退職による教員変更(23) 担当 奥野由美子(講師) 平成23年6月提出予定(23)  「小児看護学実習」 担当教員の就任辞退による教員の変更(21) 担当 山本捷子(教授) 平成20年10月 教員審査済 判定 可



科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専 門 地 実 習	精神看護学実習	3後～4前	2			1		+	1 +		<p>「精神看護学実習」 担当教員の変更(23) 担当 山崎不二子(教授) 平成22年7月 教員審査済 判定 可 (23)</p> <p>担当 中島富有子(助教) 平成22年7月 教員審査済 判定 可 (23)</p> <p>「精神看護学実習」 担当教員の就任辞退による教員の変更(22) 担当 松岡緑(教授) 平成4年12月 教員審査済 判定 可 (22)</p>
	地域看護学実習	3後～4前	3			1 2 +			1 2 3	4	<p>「地域看護学実習」 担当教員の退職のため(23)</p> <p>「地域看護学実習」 担当教員の退職による教員の変更(22) 担当 酒井康江(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 (22)</p> <p>「地域看護学実習」 教育課程の充実を図るため教員を追加(21) 担当 松尾和枝(教授) 平成20年10月 教員審査済 判定 可</p>
	在宅看護実習	3後～4前	2			1			1 1	4	<p>「在宅看護実習」 担当教員の退職による教員の変更(23) 担当 井ノ上梢(助教) 平成22年7月 教員審査済 判定 可 (23)</p> <p>「在宅看護実習」 担当教員の退職による教員の変更(22) 担当 松尾和枝(教授) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 (22)</p> <p>担当 酒井康江(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 (22)</p>

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
臨 地 実 習  専 門 科 目	看護学総合実習	4前	2			6 5 7 8	4 3	3 2	9	13	「看護学総合実習」 担当教員の退職による教 員の変更(23) 担当 山崎不二子(教授) 平成22年6月 教員審査済 判定 可(23)  担当 中島富有子(助教) 平成22年6月 教員審査済 判定 可(23)  担当 井ノ上梢(助教) 平成22年6月 教員審査済 判定 可(23)  担当 新地裕子(准教授) 平成23年1月 教員審査済 判定 可(23)  担当 青山和子(准教授) 平成20年9月 教員審査済 判定 可(23)  担当 奥野由美子(講師) 平成23年6月 提出予定  「看護学総合実習」 担当教員の就任辞退及び 教育課程の充実を図るた め、教員を追加 (22) 担当 福澤雪子(准教授) 平成21年7月 教員審査済 判定 可(22)  担当 坂梨(隅川)左織(助 教) 平成21年10月 教員審査済 判定 可(22)  担当 酒井康江(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 可(22)  担当 太田里枝(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可(22)  「看護学総合実習」 担当教員の就任辞退及び 教育課程の充実を図るた め、教員を追加(21) 担当 山本捷子(教授) 担当 松尾和枝(教授) 平成20年10月 教員審査済 判定 可 担当 福澤雪子 (准教授) 平成21年6月 提出予定
	小計(11科目)	—		25	0	0	6 5 7 8	4 3	3 2	9	13

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 展 開 目	看護研究入門	3前	1			1 +	1					「看護研究入門」 担当教員の就任辞退による教員の変更(22) 担当 松岡 緑(教授) 平成4年12月 教員審査済 判定 可 (22)  担当 福澤雪子(准教授) 平成21年7月 教員審査済 判定 可 (22)  「看護研究入門」 担当教員の就任辞退による教員の変更(21) 担当 福澤雪子(准教授) 平成21年6月 提出予定
	災害看護	3前	1			1						「災害看護」 教育課程の充実を図るため、教員を追加(21) 担当 山本捷子(教授) 平成20年10月 教員審査済 判定 可
	国際保健学	3前	1			1		1				「国際保健学」 教育課程の充実を図るため、教員を追加(22) 担当 酒井康江(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 (22)  「国際保健学」 教育課程の充実を図るため、教員を追加(21) 担当 松尾和枝(教授) 平成20年10月 教員審査済 判定 可
	看護管理学	4後	1			1						
	看護の歴史	4後		1		1						
	緩和ケア	4後		1				1				
	卒業研究	4後	2			6 5 7 8	4 3	3 2	8 9	13	「卒業研究」 担当教員の退職による教員の変更(23) 担当 山崎不二子(教授) 平成22年6月 教員審査済 判定 可 (23)  担当 中島富有子(助教) 平成22年6月 教員審査済 判定 可 (23)  担当 井ノ上梢(助教) 平成22年6月 教員審査済 判定 可 (23)  担当 新地裕子(准教授) 平成23年1月 教員審査済 判定 可 (23)  担当 青山和子(准教授) 平成20年9月 教員審査済 判定 可 (23)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	卒業研究											<p>担当 奥野由美子(講師) 平成23年6月 提出予定</p> <p>「卒業研究」 担当教員の就任辞退及び 教育課程の充実を図るた め、教員を追加 (22) 担当 福澤雪子(准教授) 平成21年7月 教員審査済 判定 可 (22)</p> <p>担当 酒井康江(講師) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 (22)</p> <p>担当 太田里枝(助教) 平成22年1月 教員審査済 判定 可 (22)</p> <p>「卒業研究」 担当教員の就任辞退及び 教育課程の充実を図るた め、教員を追加(21) 担当 山本捷子(教授) 担当 松尾和枝(教授) 平成20年10月 教員審査済 判定 可</p> <p>担当 福澤雪子 (准教授) 平成21年6月 提出予定</p>
	小計(7科目)	—	6	2	0	6 5 7 8	4 3	3 2	8 9	13		
<p>合計(98科目) 合計(96科目)</p>		—	120	27	4	10 8 11	4 3	5 4 3	9	13		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 77	科目 19	科目 —	科目 96	科目 77 [ ]	科目 19 [ ]	科目 2 [2]	科目 98 [2]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

該当なし

(注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

該当なし

(注) ・設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用 独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター			
	校舎敷地	9,811.99㎡	0㎡	0㎡	9,811.99㎡				
	運動場用地	5,410.75㎡	0㎡	0㎡	5,410.75㎡				
	小 計	15,222.74㎡	0㎡	0㎡	15,222.74㎡				
	そ の 他	2,149.0㎡	0㎡	0㎡	2,149.0㎡				
合 計	17,371.74㎡	0㎡	0㎡	17,371.74㎡					
(2) 校 舎	専 用	6,445.16㎡ <del>5,608.53㎡</del>	0㎡	0㎡	6,445.16㎡ <del>5,608.53㎡</del>	校舎増改築のため (22)			
	(5,608.53㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	(5,608.53㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	5室	演 習 室 17室 8室	実験実習室 4室	情報処理学習施設 1室 (補助職員 10人)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)	演習室を増築したため (22) 平成20年4月補助職員 1名を新規採用のため (20) 情報処理学習施設は、 語学学習施設を兼ね る。		
	新設学部等の名称	看護学部 看護学科			室 数 24 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学生の教育充実を図るため、 機械・器具の点数を増加した (21) 学生の教育充実を図るため、 機械・器具の点数を増加した (20) 増改築により機械・器具 を増加した (22) 標本から機械・器具へ 変更した (20) 図書、学術雑誌、視聴 覚資料を追加した (23) 図書を追加した (22) 図書・電子ジャーナル を追加した (21) 福岡女学院大学・短期 大学部からの転用分 25,581冊	
	看護学部	38,159 [7,616] <del>36,364 [7,611]</del> 35,729 [7,821]	83 [27] 72 [27] 92 [48]	760 [760] <del>1,057 [1,057]</del> 760 [760] 7 [7]	227 17	5,857 5,827 5,623 3,866	20 21		
	計	(34,522 [7,362]) (29,129 [7,221])	(62 [26]) (56 [26])	(750 [750]) (7 [7])	(17)	(5,583) (3,826)	(20) (21)		
	面 積	310㎡		閱 覧 座 席 数	60席		収 納 可 能 冊 数		51800冊
(7) 体 育 館	面 積	748.5㎡		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要		借用 独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター			
	面 積	748.5㎡		-		-			
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	15,000千円	11,470千円	6,000千円	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	209,866千円	2,000千円	2,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次 1,800千円	第2年次 1,500千円	第3年次 1,500千円	第4年次 1,500千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		入学検定料および補助金収入等で維持をする。							

- (注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	福岡女学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
福岡女学院大学 人文学部 現代文化学科	4	100	20	440	学士(人文学)	1.27	平成13年度	福岡県福岡市南区 日佐3丁目42番1号	平成20年4月から福岡女学院大学表現学科の3年次編入学定員を以下の通り変更。 20人→0人
表現学科	4	100	-	400	学士(人文学)	0.95	平成13年度		
英語学科	4	40	-	160	学士(人文学)	1.27	平成15年度		
人間関係学部 心理学科	4	120	-	480	学士(人間関係学)	0.98	平成11年度		人間関係学部は平成18年度入試まで学部で募集。
子ども発達学科	4	120	-	480	学士(人間関係学)	1.08	平成11年度		
大学の名称	福岡女学院大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
福岡女学院大学 短期大学部 英語科	2	200	-	400	短期大学士(英語)	0.66	昭和39年度	福岡県福岡市南区 日佐3丁目42番1号	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

### (1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	学長教授	徳永 徹	平成20年4月	建学の理念※						
専	学部長教授	松岡 縁	平成20年4月	建学の理念※ 健康教育論 早期体験学習 ヒューマンリンク論 成人看護学概論 慢性期・終末期の成人看護援助論※ 看護学総合実習 看護の歴史 卒業研究					建学の理念※ 健康教育論 早期体験学習 ヒューマンリンク論 成人看護学概論 慢性期・終末期の成人看護援助論※ 老年看護学概論 精神看護学実習 看護学総合実習 看護研究入門 看護の歴史 卒業研究	「精神看護学実習」白石裕子教授の就任辞退による担当教員の変更(22) 教員審査省略 平成4年12月教員審査済  「看護研究入門」斉藤ひさ子教授の就任辞退による担当教員の変更(22) 教員審査省略 平成4年12月教員審査済  「老年看護学概論」赤司千波教授の退職による担当者の変更(21) 平成21年1月 教員審査済
									建学の理念※ 健康教育論 早期体験学習 ヒューマンリンク論 成人看護学概論 慢性期・終末期の成人看護援助論※ 老年看護学概論 精神看護学実習 看護学総合実習 看護研究入門 看護の歴史 卒業研究	「精神看護学実習」山崎不二子教授の就任により担当教員を変更(23)
専	教授	篠原 忍	平成20年4月	ジェンダー論 心理学 人間関係論 リグ・アップ論 発達心理学						
専	教授	貞野 宏之	平成20年4月	生命倫理 生物と地球環境 コンピュータ・リテラシー 情報処理演習 生命科学 生化学	兼任	講師	牧野 健一	平成23年4月	コンピュータ・リテラシー	貞野宏之教授の体調不良に伴い平成23年4月から平成23年9月のみ兼任講師へ担当者を変更(23)
兼任	講師	白石 裕子	平成20年4月	カウンセリング論 精神看護学概論						



認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	白石 裕子	平成22年4月	カウンセリング論 セルフ論 障害者心理学 早期体験学習 精神看護学概論 精神保健看護論 精神看護援助論 精神看護援助論 演習 精神看護学実習 看護学総合実習 卒業研究	兼任	講師	野村 勝彦	平成21年10月	カウンセリング論	白石裕子教授就任辞退のため一部の科目の担当を変更するが既に後任候補者がおり成23年4月から専任教授として採用予定。平成22年6月変更書提出予定。 「障害者心理学」については担当教員を公募している。他の科目については他に担当者がいるため支障はない。(22)
					兼任	講師	白石 裕子	平成20年4月	精神看護学概論	
					兼任	講師	山崎不二子	平成22年4月	精神看護援助論 精神看護援助論 演習	
					兼任	講師	小松原百合子	平成22年4月	精神保健看護論	
							後任未定		障害者心理学	
					専任	教授	山崎不二子	平成23年4月	セルフ論 早期体験学習 精神看護学概論 精神保健看護論 精神看護援助論 精神看護援助論 演習 精神看護学実習 看護学総合実習 卒業研究	白石裕子教授就任辞退のため一部の科目の担当を変更(23) 平成22年7月 教員審査済
					兼任	講師	野村 勝彦	平成21年10月	カウンセリング論 障害者心理学	
兼任	講師	津田 茂子	平成20年4月	家族看護論						
専	教授	津田 茂子	平成21年4月	セルフ論 早期体験学習 家族看護論 発達看護学概論 発達看護援助論 演習※ 母性看護援助論 小児看護援助論 障害児ケア 小児看護学実習 看護学総合実習 卒業研究	専	教授	山本 捷子	平成21年4月	セルフ論 早期体験学習 家族看護論 発達看護学概論 発達看護援助論 演習※ 小児看護援助論 障害児ケア 小児看護学実習 看護学総合実習 卒業研究 災害看護	津田茂子教授就任辞退による担当者の変更(21) 平成20年10月 教員審査済
専	教授	窪田 恵子	平成20年4月	看護学概論 看護理論 早期体験学習 基礎看護学方法論Ⅰ(基本看護技術)※ 基礎看護学方法論Ⅱ(生活援助技術)※ 看護過程※ 基礎看護学実習 看護過程実習 看護学総合実習 卒業研究						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	田中 洋子	平成21年4月	早期体験学習 医療安全管理論 急性期・回復期の成人看護援助論※ クリティカル 成人・老年看護援助論演習 成人看護学実習(急性期) 看護学総合実習 看護管理学 卒業研究						
専	教授	齊藤 ひさ子	平成21年4月	早期体験学習 家族看護論 発達看護学概論 発達看護援助論演習※ 母性看護援助論 母性看護学実習 看護学総合実習 看護研究入門 卒業研究	兼任	講師	福澤 雪子	平成21年4月	発達看護学概論	齊藤ひさ子教授の就任辞退による担当者の変更(21) 「発達看護学概論」は他に担当教員が1名いるため支障はない。
					専	准教授	福澤 雪子	平成22年4月	早期体験学習 家族看護論 発達看護学概論 発達看護援助論演習※ 母性看護援助論 母性看護学実習 看護学総合実習 看護研究入門 卒業研究	平成21年7月 教員審査済(22) 齊藤ひさ子教授の就任辞退による担当者の変更(21) 平成21年6月 変更書提出予定(21)
					専	准教授	新地 裕子	平成23年4月	早期体験学習 発達看護学概論 発達看護援助論演習※ 母性看護援助論 急性期・回復期の成人看護援助論※ 成人・老年看護援助論演習 基礎看護学実習 看護過程実習 成人看護学実習(急性期) 成人看護学実習(慢性期) 母性看護学実習 看護学総合実習 卒業研究	教育課程の充実を図るため教員を追加(23) 平成23年1月 教員審査済
専	教授	赤司 千波	平成20年4月	早期体験学習 慢性期・終末期の成人看護援助論※ 老年看護学概論 老年看護援助論※ 成人・老年看護援助論演習 老年看護学実習 看護学総合実習 卒業研究			後任未定			平成20年8月31日退職(21) 「後任未定」専任教員採用予定。 担当科目については他に担当教員がいるため、支障はない。

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	本川 眞弓	平成20年4月	早期体験学習 地域看護学概論 地域看護活動論Ⅰ（地域看護の展開） 地域看護活動論Ⅱ（地域看護活動の方法と地域看護管理） 地域看護活動論Ⅲ（地域看護活動の場の違いと特徴）※ 在宅看護論Ⅰ 在宅看護論Ⅱ 地域看護学実習 在宅看護学実習 看護学総合実習 卒業研究					早期体験学習 地域看護学概論 在宅看護論Ⅰ 在宅看護論Ⅱ 地域看護学実習 在宅看護学実習 看護学総合実習 卒業研究	教員の新規採用（松尾和枝教授）に伴い担当科目を変更（21）
					専	講師	酒井 康江	平成22年4月	早期体験学習 在宅看護論Ⅰ 在宅看護論Ⅱ 地域看護学実習 在宅看護学実習 看護学総合実習 卒業研究 国際保健学	平成22年3月31日退職 本川眞弓教授退職による担当教員の変更（22） 平成22年1月 教員審査済
					専	教授	松尾 和枝	平成22年4月	地域看護学概論 在宅看護学実習	平成22年1月（22） 教員審査済
専	准教授	内村 美子	平成21年4月	早期体験学習 基礎看護学方法論Ⅱ（生活援助技術）※ 基礎看護学実習 看護過程実習 看護学総合実習 卒業研究	専	准教授	青山 和子	平成23年4月	早期体験学習 基礎看護学方法論Ⅱ（生活援助技術）※ 基礎看護学実習 看護過程実習 看護学総合実習 卒業研究	平成23年3月31日退職 内村美子准教授の退職による担当教員の変更（23） 平成20年9月 教員審査済
専	准教授	山田 巧	平成21年4月	早期体験学習 急性期・回復期の成人看護援助論※ 成人・老年看護援助論演習 基礎看護学実習 看護過程実習 成人看護学実習（急性期） 看護学総合実習 卒業研究						平成23年3月31日退職（23）
専	准教授	穴井 めぐみ	平成21年4月	早期体験学習 慢性期・終末期の成人看護援助論※ 老年看護援助論※ リハビリテーション看護学 成人・老年看護援助論演習 基礎看護学実習 成人看護学実習（慢性期） 看護学総合実習 緩和ケア 卒業研究					早期体験学習 慢性期・終末期の成人看護援助論※ 老年看護援助論※ リハビリテーション看護学 成人・老年看護援助論演習 基礎看護学実習 成人看護学実習（慢性期） 老年看護学実習 看護学総合実習 緩和ケア 卒業研究	赤司干波教授の退職による担当教員の変更（22） 平成22年1月 教員審査済
専	講師	本村 直美	平成20年4月	Basic English Basic Medical English English Presentation Communication in English English for Nursing	兼	講師	津留崎 幸代	平成21年4月	Basic English	本村直美講師産休・育休より復職（22）
					兼	講師	城戸 真由美	平成21年4月	English Presentation English for Nursing	本村直美講師の産休・育休により平成21年4月より平成21年9月まで担当教員を変更（21）

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	藤野 成美	平成22年4月	早期体験学習 精神保健看護論 精神看護援助論 精神看護援助論 演習 看護過程実習 精神看護学実習 看護学総合実習 卒業研究						藤野成美講師就任辞退。 他に担当教員がいるため 支障はない(22)  後任について 平成22年6月変更書提出予定
専	講師	吉武 美佐子	平成20年4月	早期体験学習 基礎看護学方法 論Ⅰ(基本看護 技術)※ 基礎看護学方法 論Ⅱ(生活援助 技術)※ フィジカルアセスメント※ 看護過程※ 基礎看護学実習 看護過程実習 看護学総合実習 卒業研究						
兼任	講師	森中 恵子	平成21年4月	地域看護活動論 Ⅱ(地域看護活 動の方法と地域 看護管理)						
専	助教	森中 恵子	平成22年4月	早期体験学習 地域看護活動論 Ⅱ(地域看護活 動の方法と地域 看護管理) 地域看護活動論 Ⅲ(地域看護活 動の場の違いと 特徴)※ 地域看護学実習 看護学総合実習 卒業研究						
専	助教	青木 久恵	平成20年4月	早期体験学習 フィジカルアセスメント※ 看護過程※ 基礎看護学実習 看護過程実習 看護学総合実習 卒業研究						
専	助教	鐵井 千嘉	平成20年4月	早期体験学習 慢性期・終末期 の成人看護援助 論※ 基礎看護学実習 看護過程実習 成人看護学実習 (慢性期) 看護学総合実習 卒業研究			榎野 千嘉			改姓に伴い氏名の変更 (20)
							鐵井 千嘉			改姓に伴い氏名の変更 (23)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	姫野 深雪	平成22年4月	早期体験学習 成人・老年看護 援助論演習 基礎看護学実習 看護過程実習 成人看護学実習 (慢性期) 看護学総合実習 卒業研究	専	助教	坂梨(隅川) 左織	平成22年4月	早期体験学習 成人・老年看護 援助論演習 急性期・回復期 の成人看護援助 論 基礎看護学実習 看護過程実習 成人看護学実習 (急性期) 看護学総合実習	姫野深雪助教の就任辞退 による担当教員の変更 平成21年10月 教員審査済 (22)
					専	助教	太田 里枝	平成22年4月	早期体験学習 成人・老年看護 援助論演習 成人看護学実習 (慢性期) 老年看護学実習 看護学総合実習 卒業研究	姫野深雪助教の就任辞退 による担当教員の変更 平成22年1月 教員審査済 (22)
専	助教	田出 美紀	平成20年4月	早期体験学習 発達看護援助論 演習※ 母性看護学実習 看護学総合実習 卒業研究						
専	助教	藤井 智恵子	平成21年4月	早期体験学習 発達看護援助論 演習※ 小児看護援助論 看護過程実習 小児看護学実習 看護学総合実習 卒業研究			鈴木 智恵子			改姓に伴い氏名の変更 (22)
					専	講師	奥野 由美子	平成23年4月	早期体験学習 発達看護援助論 演習※ 小児看護援助論 看護過程実習 小児看護学実習 看護学総合実習 卒業研究	平成23年3月31日退職 鈴木智恵子助教の退職に よる担当教員の変更 (23) 平成23年6月変更書提出予 定
専	助教	前田 由紀子	平成22年4月	早期体験学習 精神保健看護論 精神看護援助論 精神看護援助論 演習 看護過程実習 精神看護学実習 看護学総合実習 卒業研究						前田由紀子助教就任辞 退。他に担当教員がいる ため支障はない (22)  後任について 平成22年6月変更書提出予 定
					専	助教	中島 富有子	平成22年10月	早期体験学習 精神保健看護論 精神看護援助論 精神看護援助論 演習 看護過程実習 精神看護学実習 看護学総合実習 卒業研究	前田由紀子助教の就任辞 退のため科目の担当を変 更 (23) 平成22年7月 教員審査済

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	彌永 和美	平成20年4月	早期体験学習 地域看護活動論Ⅱ（地域看護活動の方法と地域看護管理） 地域看護学実習 在宅看護実習 看護学総合実習 卒業研究	専	助教	井ノ上 梢	平成22年10月	早期体験学習 在宅看護実習 看護学総合実習 卒業研究	平成23年3月31日退職 彌永和美助教の退職による担当教員の変更（23） 平成22年7月 教員審査済
専	助教	山口 淑恵	平成21年4月	早期体験学習 地域看護活動論Ⅱ（地域看護活動の方法と地域看護管理） 地域看護学実習 看護学総合実習 卒業研究						
兼任	講師	上野 道雄	平成20年4月	建学の理念※ 医療安全管理論					建学の理念※ 医療安全管理論 病態・疾病論Ⅰ（疾病総論、呼吸器、消化器、循環器）※	教育課程の充実を図るため教員を追加（21）
兼任	講師	朔 元則	平成20年4月	建学の理念※						
兼任	講師	大田 満夫	平成20年4月	建学の理念※						
兼任	講師	古川 照美	平成20年4月	建学の理念※	兼任	講師	松原 安宏	平成21年4月	建学の理念※	担当者の変更（21）
兼任	講師	齊藤 皓彦	平成20年4月	建学の理念※	専	副学長教授	水口 康雄	平成21年4月	建学の理念※	平成21年12月退職（22） 教育課程の充実を図るため教員を追加（21） 平成21年1月 教員審査済
					兼任	講師	白日 高歩	平成22年4月	建学の理念※	退職による担当教員の変更（22）
					専	副学長教授	西間 三馨	平成23年4月	建学の理念※ 小児看護援助論	平成21年12月31日退職（水口康雄教授） 水口康雄教授（副学長）の退職による担当者の変更（23） 平成23年1月 教員審査済
兼任	講師	高島 一路	平成20年4月	建学の理念※						就任辞退（23）
兼任	講師	米倉 裕子	平成20年4月	音楽 音楽療法						
兼任	講師	波平 恵美子	平成20年4月	文化人類学						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	塚 太郎	平成20年4月	社会福祉学						
兼任	講師	松永 俊文	平成20年4月	ボランティア論						
兼任	講師	寺澤 洋子	平成20年4月	食生活論 健康と栄養	兼任	講師	秀平 キヨミ	平成22年4月	健康と栄養	担当教員の変更 (22)
兼任	講師	栗山 昌子	平成22年4月	日本語表現法とマナー						
兼任	講師	金関 毅	平成20年4月	人体の構造と機能Ⅰ (解剖学)						
兼任	講師	平川 輝行	平成20年4月	人体の構造と機能Ⅱ (生理学)						
兼任	講師	笹栗 俊之	平成20年4月	薬理学						
兼任	講師	塩田 進	平成21年4月	微生物学・感染学					微生物学・感染学 生化学	貞野宏之教授の体調不良に伴い平成23年4月から平成23年9月のみ兼任講師へ担当者を変更 (23)
兼任	講師	黒岩 三佳	平成21年4月	病態・疾病論Ⅰ (疾病総論、呼吸器、消化器、循環器) ※ 病態・疾病論Ⅲ (運動器、内分泌・代謝、血液・造血器、腎・泌尿) ※ 病態・疾病論Ⅳ (女性生殖器、免疫・アレルギー、感染症、腫瘍学、放射線医学) ※						
兼任	講師	川崎 雅之	平成21年4月	病態・疾病論Ⅰ (疾病総論、呼吸器、消化器、循環器) ※	兼任	講師	高田 昇平	平成23年4月	病態・疾病論Ⅰ (疾病総論、呼吸器、消化器、循環器) ※	担当教員の変更 (23)
兼任	講師	田中 宗浩	平成21年4月	病態・疾病論Ⅰ (疾病総論、呼吸器、消化器、循環器) ※						
兼任	講師	小池 明広	平成21年4月	病態・疾病論Ⅰ (疾病総論、呼吸器、消化器、循環器) ※					病態・疾病論Ⅰ (疾病総論、呼吸器、消化器、循環器) ※ 病態・疾病論Ⅵ (救急医学、精神、感覚器) ※	担当教員の変更 (22) 教育課程の充実を図るため教員を追加 (21)
					兼任	講師	多田 靖哉	平成21年4月	病態・疾病論Ⅰ (疾病総論、呼吸器、消化器、循環器) ※	担当教員の変更 (22)
					兼任	講師	大越 恵一郎	平成21年4月	病態・疾病論Ⅰ (疾病総論、呼吸器、消化器、循環器) ※	担当教員の変更 (22)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	古賀 英幸	平成21年4月	病態・疾病論Ⅰ (疾病総論、呼吸器、消化器、循環器)※	担当教員の変更(22)
					兼任	講師	松岡 大輔	平成21年4月	病態・疾病論Ⅰ (疾病総論、呼吸器、消化器、循環器)※	担当教員の変更(22)
					兼任	講師	中村 洋文	平成23年4月	病態・疾病論Ⅰ (疾病総論、呼吸器、消化器、循環器)※	担当教員の変更(23)
兼任	講師	江崎 卓弘	平成21年4月	病態・疾病論Ⅱ (外科学総論、脳・神経・筋)※ 病態・疾病論Ⅳ (女性生殖器、免疫・アレルギー、感染症、腫瘍学、放射線医学)※ 病態・疾病論Ⅵ (救急医学、精神、感覚器)※						
兼任	講師	中根 博	平成21年4月	病態・疾病論Ⅱ (外科学総論、脳・神経・筋)※					病態・疾病論Ⅳ (女性生殖器、免疫・アレルギー、感染症、腫瘍学、放射線医学)※	担当科目の変更(21)
兼任	講師	笹ヶ迫 直一	平成21年4月	病態・疾病論Ⅱ (外科学総論、脳・神経・筋)※						
兼任	講師	野中 将	平成21年4月	病態・疾病論Ⅱ (外科学総論、脳・神経・筋)※	兼任	講師	大城 真也	平成22年4月	病態・疾病論Ⅱ (外科学総論、脳・神経・筋)※	担当教員の変更(22)
兼任	講師	中家 一寿	平成21年4月	病態・疾病論Ⅲ (運動器、内分泌・代謝、血液・造血器、腎・泌尿)※						
兼任	講師	浅野 有	平成21年4月	病態・疾病論Ⅲ (運動器、内分泌・代謝、血液・造血器、腎・泌尿)※	兼任	講師	篠原 規恭	平成21年4月	病態・疾病論Ⅲ (運動器、内分泌・代謝、血液・造血器、腎・泌尿)※	就任辞退による担当教員の変更(21)
兼任	講師	片淵 律子	平成21年4月	病態・疾病論Ⅲ (運動器、内分泌・代謝、血液・造血器、腎・泌尿)※						
兼任	講師	加野 資典	平成21年4月	病態・疾病論Ⅲ (運動器、内分泌・代謝、血液・造血器、腎・泌尿)※						



認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	久保 紀夫	平成21年4月	病態・疾病論Ⅳ (女性生殖器、免疫・アレルギー、感染症、腫瘍学、放射線医学)※	兼任	講師	柏村 正道	平成21年4月	病態・疾病論Ⅳ (女性生殖器、免疫・アレルギー、感染症、腫瘍学、放射線医学)※	就任辞退による担当教員の変更(21)
				病態・疾病論Ⅴ (小児疾患、女性医学)※	兼任	講師	中山 秀樹	平成21年4月	病態・疾病論Ⅴ (小児疾患、女性医学)※	
兼任	講師	西間 三馨	平成21年4月	病態・疾病論Ⅳ (女性生殖器、免疫・アレルギー、感染症、腫瘍学、放射線医学)※						就任辞退(21)
兼任	講師	三原 太	平成21年4月	病態・疾病論Ⅳ (女性生殖器、免疫・アレルギー、感染症、腫瘍学、放射線医学)※						
兼任	講師	水野 勇司	平成21年4月	病態・疾病論Ⅴ (小児疾患、女性医学)※	兼任	講師	吉良 龍太郎	平成22年4月	病態・疾病論Ⅴ (小児疾患、女性医学)※	担当教員の変更(22)
兼任	講師	高橋 亨	平成21年4月	病態・疾病論Ⅵ (救急医学、精神、感覚器)※					病態・疾病論Ⅱ (外科学総論、脳・神経・筋)※	担当科目の変更(21)
兼任	講師	平野 誠	平成21年4月	病態・疾病論Ⅵ (救急医学、精神、感覚器)※	兼任	講師	森 良信	平成21年4月	病態・疾病論Ⅵ (救急医学、精神、感覚器)※	就任辞退による担当教員の変更(21)
兼任	講師	畑 快右	平成21年4月	病態・疾病論Ⅵ (救急医学、精神、感覚器)※						就任辞退(21)
					兼任	講師	岡林 寛	平成21年4月	病態・疾病論Ⅱ (外科学総論、脳・神経・筋)※	教育の充実を図るため担当教員を追加(21)
					兼任	講師	富永 隆治	平成21年4月	<del>病態・疾病論Ⅱ (外科学総論、脳・神経・筋)※</del>	教育の充実を図るため担当教員を追加(21) 就任辞退(23)
					兼任	講師	石 明寛	平成21年4月	病態・疾病論Ⅳ (女性生殖器、免疫・アレルギー、感染症、腫瘍学、放射線医学)※	教育の充実を図るため担当教員を追加(21)
					兼任	講師	中野 仁雄	平成21年4月	<del>病態・疾病論Ⅳ (女性生殖器、免疫・アレルギー、感染症、腫瘍学、放射線医学)※</del>	担当教員の変更(22) 教育の充実を図るため担当教員を追加(21)
					兼任	講師	井口 友宏	平成22年4月	病態・疾病論Ⅱ (外科学総論、脳・神経・筋)※	教育の充実を図るため担当教員を追加(22)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	前田 貴司	平成22年4月	病態・疾病論Ⅱ (外科学総論、 脳・神経・筋) ※ 病態・疾病論Ⅵ (救急医学、精神、 感覚器)※	教育の充実を図るため担当教員を追加(22)
					兼任	講師	野添 忠浩	平成22年4月	病態・疾病論Ⅵ (救急医学、精神、 感覚器)※	教育の充実を図るため担当教員を追加(22)
					兼任	講師	松隈 哲人	平成22年4月	病態・疾病論Ⅵ (救急医学、精神、 感覚器)※	教育の充実を図るため担当教員を追加(22) 就任辞退(23)
					兼任	講師	伊東 啓行	平成22年4月	病態・疾病論Ⅵ (救急医学、精神、 感覚器)※	教育の充実を図るため担当教員を追加(22)
					兼任	講師	塩川 祐一	平成23年4月	病態・疾病論Ⅱ (外科学総論、 脳・神経・筋) ※	担当教員の変更(23)
兼任	講師	中島 恵子	平成21年4月	医療心理学						
兼任	講師	吉田 大悟	平成21年4月	公衆衛生学・疫学 保健福祉行政論						
兼任	講師	中野 正博	平成21年4月	保健統計学						
兼任	講師	馬場 文子	平成21年4月	医療安全管理論						
兼任	講師	菅 庸子	平成22年4月	地域看護活動論Ⅲ (地域看護活動の場の違いと特徴)※						
兼任	講師	山本 捷子	平成22年4月	災害看護	専任	教授		平成21年4月	セルフケア論 早期体験学習 家族看護論 発達看護学概論 発達看護援助論 演習※ 小児看護援助論 障害児ケア 小児看護学実習 看護学総合実習 卒業研究 災害看護	津田茂子教授就任辞退による担当者の変更(21)  平成20年10月 教員審査済

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	松尾 和枝	平成22年4月	国際保健学	専任	教授		平成21年4月	早期体験学習 地域看護活動論Ⅰ（地域看護の展開） 地域看護活動論Ⅱ（地域看護活動の方法と地域看護管理） 地域看護活動論Ⅲ（地域看護活動の場の違いと特徴）※ 地域看護学実習 看護学総合実習 卒業研究 国際保健学 地域看護学概論 在宅看護実習	本川眞弓教授退職による担当教員の変更（22） 平成22年1月 教員審査済  平成21年4月から教育課程の充実を図るため教員を追加採用（21） 平成20年10月 教員審査済
兼任	講師	浅生 慶子	平成23年4月	看護の歴史						就任辞退（23）
兼任	講師	緒方 有為子	平成21年4月	在宅看護論Ⅰ 在宅看護論Ⅱ						就任辞退（23）
兼任	講師	坂元 恵子	平成20年4月	キリスト教学入門	兼任	講師	木ノ脇一悦郎	平成21年4月	キリスト教学入門	就任辞退（22） 就任辞退による担当者の変更（21）
					専	講師	金田 俊郎	平成22年4月	キリスト教学入門	就任辞退による担当教員の変更（22） 平成22年1月 教員審査済
兼任	講師	牧村 元太郎	平成20年4月	キリスト教の歴史と倫理	兼任	講師	木ノ脇一悦郎	平成20年4月	キリスト教の歴史と倫理	就任辞退（22） 就任辞退による担当者の変更（20）
					専	講師	金田 俊郎	平成22年4月	キリスト教の歴史と倫理	就任辞退による担当教員の変更（22） 平成22年1月 教員審査済
兼任	講師	松本 初子	平成22年4月	在宅看護実習						就任辞退（22） 他に担当教員がいるため支障はない。
					兼任	講師	大隈 義和	平成23年4月	法学（日本国憲法を含む）	教員免許状取得のため科目を追加（23）
					兼任	講師	森村 和浩	平成23年4月	体育	教員免許状取得のため科目を追加（23）

(注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・年齢は、「認可時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (19年12月)	設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開学時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	計画通り実施しております。本学の特色である独立行政法人国立病院機構との連携を通して深い専門知識、高度の技術を併せ持つ看護師、保健師教育を実践している。(20)	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (20年11月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (22年2月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	福岡女学院大学人文学部現代文化学科の入学定員超過の是正に努めること。	歩留まりを下げるなど改善に努力したが、一部入学者の減員に留まった。(23)	今後歩留まりを下げるなど改善に努力する。(23)

(注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <看護学部 看護学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>(施設・設備について)</p> <p>小講義室：1室(56人) 中講義室：3室(110人) 大講義室：1室(252人)</p> <p>ゼミ室：7室(14人) ゼミ室：1室(18人) P Cルーム：1室(67台収容)</p>	<p>(施設・設備について)</p> <p>看護大学においては、現在設置計画通り履行している。より教育活動の水準を高めるために以下の計画変更を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本学は、社会から看護と診療の援助ができる実践力と態度を身に付けた看護職者の育成を求められている。その方策として臨地実習をその中心に位置づけしている。質の高い実習を経験させるため可能な限り少人数グループで病棟実習を行う予定であるが、更にその実習における効果を確実なものとするために臨地実習前後と実習期間中に登校日を設け、少数グループワーク学習を強化することとした。このための環境整備として、現在の学生ロッカー室(更衣室)を改修して現在のゼミ室を8室から16室に倍増させた。</li> <li>2. 加えて、このようなグループワークの活動を充実させるために学生が主体的に自習できるスペースを確保するために、学生の利便性を考慮して1階の講義室を図書館と連結させ図書資料・視聴覚資料を使用できるゼミラウンジとしての改修を行った。</li> <li>3. それから、少人数臨地実習が円滑に実施されるために、実習に関わる助手を看護教員が同時指導出来るようにして、実習指導の効果を上げ、臨地実習指導の水準を高めると同時に、学生に対する臨地実習教育の平準化を図ることとした。このために、2階講義室2室を改修して、講義室を一つにして新たに実習助手専用室を設けた。</li> <li>4. 以上の改修によって不足する2室の講義室と学生ロッカー室(更衣室)を含んだ建物を増築することとした。</li> <li>5. また、事務室において学生と対応できるスペースが狭いので、事務室の一部変更を加えることと、昨今の治安の悪化を踏まえて学生の安全確保を図るために、門衛所を設け夜間時守衛を置く計画も同時に行った。</li> </ol>
<p>(開講科目、単位及び卒業要件について)</p> <p>開講科目数及び単位数はそれぞれ96科目・147単位であり、内訳は必修が77科目・120単位、選択が19科目・27単位である。 卒業要件は126単位としている。</p>	<p>(開講科目、単位及び卒業要件について)</p> <p>教員免許状取得のため、自由科目(2科目・4単位)を追加。(別添「学則新旧対照表」参照)</p> <p>開講科目数及び単位数はそれぞれ98科目・151単位であり、内訳は必修が77科目・120単位、選択が19科目・27単位、自由科目が2科目・4単位である。 卒業要件は126単位としている。</p>

(注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)

及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については

適宜項目を設けてください。(記入例参照)

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

※規程を別添いたします。

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

本年度、委員会を3回開催した。

#### c 委員会の審議事項等

FD推進のためFD研修会の企画及び実施に関する事項等

### ② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

#### a 実施内容

- ・ 分かりやすい授業の工夫
- ・ 臨地実習
- ・ カリキュラム改正に向けての検討
- ・ 教育システムについての研修会

#### b 実施方法

学内教員により実施した。

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

現時点までに4回の研修会を実施した。教員の参加については、すべて全教員が参加した。

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FDの結果を受け授業評価とその改善報告を行うこととした。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

## (3) 自己点検・評価等に関する事項

### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

### ② 自己点検・評価報告書

#### a 公表（予定）時期

- ・ 平成24年5月1日 公表（予定）

#### b 公表方法

- ・ 自己点検・評価報告書の作成
- ・ 大学ホームページ上に公開予定

### ③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成23年度に評価機関（大学基準協会）に加盟し評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成24年3月予定 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.fukujo.ac.jp/ns/> )

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成24年3月予定 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.fukujo.ac.jp/ns/> )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)  
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。